



”問題”を探せ。
 答えを探すな。

滋賀県立大学 | 環境科学部
 環境政策・計画学科



現場に赴くことにより見えてくる物事の本質



地域活性化の仕事を



地域住民に計画やビジョンを届け、動かす



舞台は世界。「現場」でこそ見える問題がある。

“環境”で鍛えたチカラは、
 社会のどこでも通用する。

環境政策・計画学科



履としまわせのシェアを目指します



滋賀県行政で環境の仕事をするための誇り



生まれ育った街のために、自分ができること。



企業が変わらなければ、社会は変えられない。

環境政策・計画学科
<https://depp-usp.com/>
 お問い合わせ E-mail: cssoffice@es.usp.ac.jp (環境政策・計画学科控室)

在学生・卒業生が取り組んでいる
 「問題」をHPでチェック!



滋賀県立大学
 THE UNIVERSITY OF SHIGA
 〒522-8533 彦根市八坂町2500
 TEL: 0749-28-8200 (代表)
 HP: <http://www.usp.ac.jp>



十
答えを探すな。

“問題”を探せ。



問題が決まっていれば、答えだって決まってくる。
ワンクリックで、すぐに答えが見つかるかも知れない。

でも、そんな学びって楽しい？

答えの前に、誰も気づかなかった問題を自分の力で発見すること。
そこから始める方がよりクリエイティブで、
世の中にとっても価値あることだと私たちは考えます。

だから、机にかじりつく前に、まずは現場に飛び出す。
そして、できるだけ多くの人と対話をする。

目を凝らし、耳を澄ませば、
今、自分を取り組むべき問題がきつと見えてくるはず。

一言では表しきれないこの学びを「おもしろい」と感じられるなら、
4年間で磨いたものは、必ずあなたの武器になるでしょう。

環境政策・計画学科 学びのステップ

現場で役立つ スキルを学ぶ

環境問題の現場では必須の、調査やファシリテーションについての基礎知識を学びます。



ファシリテーション技法・演習

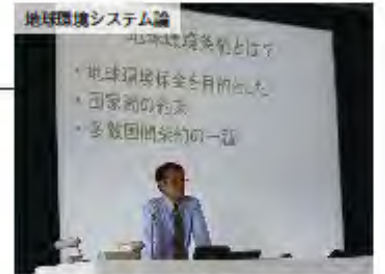


応用統計学

- 合意形成支援技法・演習
- 地域調査法
- 環境シミュレーション
- GIS調査
- 環境情報
- 環境経済演習
- など

環境の専門知識 を学ぶ

環境政策・計画学科では、基礎となる理論から専門的な内容まで、幅広い範囲で学びます。



- 環境政策学
- 産業物質環境
- 国際環境政策論
- 地域環境政策論
- 環境法
- 森林環境学
- 環境計画
- など

現場を実践的に 学ぶ

実際現場に立って、環境イベントを企画・実施したり、市民の話し合い(合意形成)の場で意見をまとめたりなど、実践的に学びます。



政策形成・施設演習



政策計画演習

- 社会調査実習
- 環境マネジメント演習
- 社会システム分析設計・演習
- 市民参加論
- など

授業についての詳しい情報はこちら

<https://depp-usp.com/about/class>



社会人基礎力が磨かれます。

多彩な視角を持って現場に立てるよう、幅広い専門知識を学び

「環境で鍛えたチカラは、社会のどこでも通用する」

市民や行政、企業に対し、言わば環境のスペシャリストという立場で政策や計画を立案・実施可能な社会に導いていくための能力を磨きます。そのため、机上だけでなく、野外や現場での学びに力を入れています。授業では、授業で学んだ知識を、実際の現場で活かす機会を設けています。

「環境で鍛えたチカラは、社会のどこでも通用する」

卒業研究

問題発見

学生自ら探した、または、卒業生が取り組んだ卒業論文のテーマを紹介します。

調査分析

テーマにあった研究で、調査・分析を行い、結果をまとめるための調査方法を紹介します。

問題解決の糸口発見

調査・分析により、明らかになった問題の解決策を、卒業生が実践している事例を紹介します。

4年間の学習の「集大成」としての卒業研究

自分で探した問題や、最大限の努力を傾けて取り組むことで得られる最大の収穫。それは自分の課題「何をしたいか」「どうしたいか」「何をしたいか」「どうしたいか」を、卒業生が実践している事例を紹介します。



授業以外の課外活動などの取り組みはある？

課外活動の一つとして、全ての学生が参加する「ボランティア活動推進プロジェクト」が実施されています。この活動は、地域の福祉や環境保護に貢献しています。

過去の卒業生の進路は？

多くの卒業生が、就職先や進学先で活躍しています。また、地域貢献活動にも積極的に参加しています。

主な就職先

【民間企業】パナソニック㈱、村田製作所、富士通㈱、大和ハウス工業㈱、ソフトバンク㈱、朝エヌ・ティ・ティ・データ、みずほ情報総研㈱、西日本旅客鉄道㈱、南海電気鉄道㈱、朝日自動車㈱、日本通運㈱、日本郵便㈱、朝日電通テック、朝平和堂、野村證券㈱、明治生命保険(株)、朝日銀行、朝日生命、朝日中央信用金庫

【公務員】国土交通省、北陸農政局、近畿運輸局、国税専門官、滋賀県、静岡県、滋賀県警察、彦根市、大津市、京都市、横浜市、京都市立小学校

【その他】青年海外協力隊、琵琶湖環境科学研究センター、京都市議会議員

主な進学先大学院

滋賀県立大学、東京大学、東京工業大学、京都大学、名古屋大学、九州大学など

Q&A

この学科は文系？理系？

環境問題がある程度に文系理系の区別はありません。どちらの視点も必要なのです。数値や理学的データも必要です。国際や地域・公民の持つ文系的思考も大事なことです。必要に応じてどちらの知識も使えるように学習していきます。

何か資格が取れる？

高等学校卒業程度認定試験(短大)、環境省認定「環境カウンセラー」資格、国土交通省認定「環境カウンセラー」資格、自然体験学習指導員資格などがあります。

幅広い専門分野の教員から学べます

教員一人当たり学生の数はわずか4名、1回生から少人数のゼミが始まり、教員との距離が近い学科です。

井手 慎司	水環境管理、土木環境システム、環境影響評価
菅川 雄一	人文地理学、環境地理学、都市社会地理学
金谷 健	廃棄物管理論
上河原 敏二	環境法、環境政策
高橋 卓也	環境経営、森林政策・計画、資源・環境経済
斎藤 健太郎	流域政策・計画学、水工学、応用生態工学
林 幸司	環境経済学、環境政策論
村上 一真	行動経済学、環境経済学、開発経済学、地域経済・政策論
和田 有朗	環境計画、環境政策、土木環境システム
白木 祐斗	エネルギーシステム学、環境システム学
平岡 俊一	市民参加・協働、NPO/NGO、環境社会学
平山 奈央子	流域流域ガバナンス、水資源管理、住民参加、意思決定手法

2020.4.1現在

この学科の教員紹介
<https://depp-usp.com/prof>



過去の卒業研究

研究 その1

北川 大雅 さん(2018年度卒業)

問題発見

洪水ハザードマップを安全・便利なまちづくりに活用したい!

洪水ハザードマップには、浸水の深さやいざというときの避難方法が書かれています。しかしこれは、裏を返せば安全度マップと見ることができます。それなら、防災のまちづくりに活用できるのではないかと考えました。

調査分析

安全性、利便性に着目し、解析

洪水氾濫シミュレーションを行い、予想浸水深などからそれぞれの場所の安全性を評価。期待被害率という指標で表現しました。また、利便性は、駅・商店・病院など暮らしに欠かせない施設からの距離で評価しました。徒歩圏内だととても便利です。



問題解決の糸口発見

安全性と利便性、これら2つの視点からの評価を重ね合わせ、安全で便利な場所を表したマップを作成しました。ハザードマップに示された水管理リスク情報は、避難時にだけ活用するのではなく、まちづくりに活用できそうです。

研究 その2

松浦亮彦 さん(2012年度卒業)

問題発見

開発途上国の小さな島、ツバル 増えつづけるごみをどう管理すればいいの？

海抜1メートルの島国ツバル。環境問題は地球温暖化により生じた海面上昇だけではなく、狭い国土で処理しきれなくなったごみ、水質汚染、遠く離れた異国の地の、山積みのごみへとつながります。



調査分析

聞き取り調査・アンケート調査を実施

分別してごみを捨てない住民がいることを聞き取り調査で把握したり、ツバルの住民にアンケート調査を行いました。

問題解決の糸口発見

アンケートから、プラスチックごみの存在しない離島からの移住者が特に分別できていないことを把握しました。また、都市での居住年数がわかるほど、分別に適合していくことが分かりました。結果をもとに、ごみ収集作業の効率化に向けた政策提案をしました。

研究室や過去の卒業研究のリストはこちら

<https://depp-usp.com/about/soturon>

